

「当社の最良執行方針」について

平成 20 年 3 月 31 日改定
明和証券株式会社

この最良執行方針は、金融商品取引法第 40 条の 2 第 1 項の規定に従い、お客様にとって最良の取引の条件で執行するための方針及び方法を定めたものです。

当社では、お客様から国内の金融商品取引所市場に上場されている有価証券の注文を受託した際に、お客様から取引の執行に関するご指示がない場合につきましては、以下の方針に従い執行することに努めます。

1. 対象となる有価証券

- (1) 国内の金融商品取引所市場に上場されている株券、新株予約権付社債券、ETF（株価指数連動型投資信託受益証券）及び、REIT（不動産投資信託の投資証券）等、金融商品取引法施行令第 16 条の 6 に規定される「上場株券等」
- (2) グリーンシート銘柄及びフェニックス銘柄である株券及び、新株予約権付社債券等、金融商品取引法第 67 条の 18 第 4 号に規定される「取扱有価証券」

2. 最良の取引の条件で執行するための方法

(1) 上場株券等

当社においては、お客様からいただいた上場株券等に係る注文はすべて国内の金融商品取引所市場に取り次ぐこととし、PTS（私設取引システム）への取り次ぎを含む取引所外売買及び株式累積投資や株式ミニ投資等の取扱いは行いません。

- ① お客様から委託注文を受託いたしましたら、速やかに国内の当該銘柄が上場している金融商品取引所市場に取り次ぐことといたします。

金融商品取引所市場の売買立会時間外に受注した委託注文については、金融商品取引所市場における売買立会が再開された後に金融商品取引所市場に取り次ぐことといたします。

- ② ①において、委託注文の金融商品取引所市場への取り次ぎは、次のとおり行います。

(一) 上場している金融商品取引所市場が 1 箇所である場合(単独上場)には、当該金融商品取引所市場へ取り次ぎます。

(二) 複数の金融商品取引所市場に上場(重複上場)されている場合には、執行時点において、株式会社 QUICK の情報端末(当社の本支店でご覧いただけます。)において対象の証券コードを入力して検索した際に、最初に株価情報が表示される金融商品取引所市場(当該市場は、同社所定の計算方法により一定期間において最も売買高が多いとして選定されたものです。)に取り次ぎます。

なお、選定した具体的な内容は、別紙又は当社ホームページ(URL:<http://www.meiwa-sec.co.jp>)で掲載するものにおいてお示しするほか、当社の本支店にお問い合わせいただいたお客様にはその内容をお伝えいたします。

(三) (一)又は(二)により選定した金融商品取引所市場が、当社が取引参加者又は会員となっていないところである場合には、当該金融商品取引所市場の取引参加者又は会員のうち、当該金融商品取引所市場への注文の取り次ぎについて契約を締結している金融商品取引業者を経由して、当該金融商品取引所市場に取り次ぎます。

(2) 取扱有価証券(グリーンシート銘柄及びフェニックス銘柄)

当社では、基本的に取扱有価証券の注文はお受けしていません。

ただし、取扱有価証券のうち、金融商品取引所において上場廃止となった銘柄として指定しているフェニックス銘柄及びグリーンシート銘柄の「チッソ株式」について、お客様から売却注文をいただいた場合には、当該注文を、当該銘柄の投資勧誘を行っている金融商品取引業者へ取り次ぎます。

当該銘柄の取り次ぎを行う場合は、当社が投資勧誘を行っている金融商品取引業者と取り次ぎについて契約を締結している金融商品取引業者へ取り次ぎます。

なお、当社が取り次ぎについて契約を締結している金融商品取引業者が当該銘柄の投資勧誘を行わない場合には、注文をお受けできません。また、銘柄によっては注文をお受けできないものがあります。

3. 当該方法を選択する理由

(1) 上場株券等

金融商品取引所市場は多くの投資家の需要が集中しており、取引所外売買と比較すると、流動性、約定可能性、取引のスピード等の面で優れていると考えられ、ここで執行することがお客様にとって最も合理的であると判断されるからです。

また、複数の金融商品取引所市場に上場されている場合には、その中で最も流動性の高い金融商品取引所市場において執行することが、お客様にとって最も合理的であると判断されるからです。

(2) 取扱有価証券

当社では、基本的に取扱有価証券の注文はお受けしていません。

ただし、金融商品取引所において上場廃止となった銘柄として指定しているフェニックス銘柄及びグリーンシート銘柄の「チッソ株式」については、上場していた当時から当該銘柄を所有されていたお客様の換金ニーズを速やかに実現する必要があると考えます。お客様からいただいた売却注文を、注文が集まる傾向がある投資勧誘を行う金融商品取引業者に取り次ぐことは、より多くの約定機会を確保することとなり、お客様の換金ニーズを実現できる可能性が高まると判断されるからです。

4. その他

(1) 次に掲げる取引については、2. に掲げる方法によらず、それぞれ次に掲げる方法により執行いたします。

- ① お客様から執行方法に関するご指示(当社が自己で直接の相手方となる売買のご希望、執行する金融商品取引所市場のご希望、お取引の時間帯のご希望等)があった取引

当該ご指示いただいた執行方法

- ② 投資一任契約等に基づく執行

当該契約等においてお客様から委任された範囲内において当社が選定する方法

- ③ 端株及び単元未満株の取引

端株及び単元未満株を取扱っている金融商品取引業者に取り次ぐ方法

(2) システム障害等により、やむを得ず、最良執行方針に基づいて選択する方法とは異なる方法により執行する場合がございます。

その場合でも、その時点で最良の条件で執行するよう努めます。

最良執行義務は、価格のみならず、例えば、コスト、スピード、執行の確実性等さまざまな要素を総合的に勘案して執行する義務となります。

したがって、価格のみに着目して事後的に最良でなかったとしても、それのみをもって最良執行義務の違反には必ずしもなりません。

【別紙】

(平成22年10月12日改正)

複数の金融商品取引所市場に上場（重複上場）されている上場株券等について、お客様からの委託注文を取り次ぐ金融商品取引所市場の選定基準（本文の 2. (1) ②）は、次のとおりです。

(1) 株券等

- ・ 単独上場時は、その取引所を採用します。
- ・ 複数の金融商品取引所市場に上場している場合は、直近3ヶ月間の日々売買高の優劣を営業日数分比較し、評点化します。月末時点で判定し、翌月第一営業日から適用します。
※日々の売買高の優劣判定に使用する市場は、東証、大証（JASDAQを含む）、名証、地方取引所の立会取引のみが対象です。
- ・ 追加上場時は、追加上場した取引所の立会い期間が3ヶ月に満たない場合、追加上場してから判定日（月末）までの日々売買高で優劣を判定します。
なお、月中に追加上場した場合の判定日（月末）までの優先市場は、追加上場前の優先市場を引き継ぎます。
- ・ 複数市場に上場している株式で、優先市場に設定されている市場が整理銘柄に割り当てられた場合、優先市場から除外します。当該市場の上場廃止後に継続して上場する市場が存在する場合を対象とします。見直しの反映タイミングは、整理銘柄割当日の二営業日後とします。
- ・ 新規上場時に複数市場に同時上場する場合、最初の月末が到来するまでは、以下の基準で判定します。

東証 > 大証（JASDAQを含む） > 名証 > 地方取引所 の順

(2) 新株予約権付社債等

- ・ 単独上場時はその取引所を採用します。
- ・ 複数取引所に上場している場合、および新規上場時に複数市場に同時上場する場合は、以下の基準で判定します。

東証 > 大証（JASDAQを含む） > 名証 の順

以上